



3月4日に開会した第2回市議会定例会の初日、清澤市長は平成26年度の市政執行方針において、市政運営の基本方針と重点的施策について説明し、これまで検討してきた政策を形にする1年として位置付け、芦別の未来に向かって、決意を新たに力強くスピード感をもって動き出すため、市民の皆さんと市議会議員の皆さんに理解と協力を求めました。

今月は、市政執行方針で示された主な取り組みについてお知らせします。

山積する諸課題の解決に向け、 全力で市政運営にあたります

市政執行方針（抜粋）

平成26年度は、私の任期も残すところ1年となり、総仕上げを図るための重要な1年になるものと認識しており、さまざまな行政課題への取り組みに全力を尽くす決意であります。

これまでの間、私は、先人が幾世代もかけて築き上げてこられた芦別をしっかりと受け継ぎ、まちの振興を図るため、議員並びに市民の皆さんと議論を重ねながら、私の政治信条である「人と経済」を政策の基軸として、常に「挑戦」する気持ちを持って行政運営にあたり、各種施策の展開を図ってきたところであります。

さらに、山積する諸課題の解決や新たなまちづくりを推進していくために、職員の資質向上のための職員研修や人事交流を積極的に奨励するとともに、地域内にある資金、人材、情報等だけでは限界があることから、これまで広く道内外へ官民を問わず積極的に訪問し、多方面にわたる方々と接触する機会を設け、本市のまちづくりに対するご理解、ご協力について訴えてまいりました。

本市においては、種々の課題が山積し、依然として厳しい状況が続いておりますが、本年度は、これまでに検討を重ねてきた政策を形にする1年として位置付け、今まで築いた人脈を最大限に生かし、芦別の未来に向かって、決意を新たに力強くスピード感をもって動き出し、市政の運営にあたってまいります。

芦別市長 清澤 茂宏

12項目の重点的施策

清澤市長は、平成26年度市政執行方針の中で、「第5次芦別市総合計画」の着実な推進を図るため、次の12項目の重点施策の推進を表明しました。

1 安定的な財政運営

平成25年2月に策定した「行財政改革推進計画」に基づき、安心・安全な市民生活の確保と行政サービスの維持向上に意を用いつつ、将来にわたり健全で効率的な行政運営に向け、行財政改革に取り組みます。

また、行政評価制度の評価結果を予算へ反映させ、各種事務事業の見直しの強化を図ります。

2 移住・定住の促進



人生の節目節目となる結婚、出産へのお祝品として地域商品券「どんぐり」を贈呈し、また、マイホームの取得には奨励金の交付を行うなど、これら制度のさらなる普及促進に努めます。

また、国の地域おこし協力隊制度を活用した移住促進策、芦別体験ツアー等を実施し、移住・定住を促進するための施策を実施します。

3 広域連携の推進

中空知5市5町による定住自立圏の形成に向け、滝川市及び砂川市が中心市宣言を行ったことから、具体的な連携項目の協議を進め、圏域全体の課題である医療連携、防災等の課題解決に取り組みます。

また、平成26年4月から滝川地区広域消防事務組合に加入し、初動の消火力、増援体制の充実を図ります。



5市5町の構成市町

4 まちなか居住の推進



旧緑ヶ丘小学校跡地

北海道の道営住宅整備活用方針に基づくまちなか道営住宅の整備について、旧緑ヶ丘小学校跡地を活用し整備を進めます。

さらに、地域交流や防災の拠点となる集会施設の建設について、北海道と連携して整備を進めます。

今後、新たに策定する「住生活基本計画」をもとに、コンパクトなまちづくりを目指します。

5 防災体制と公共施設等の整備

地域における自主防災組織の育成や要援護者対策の推進、災害時に必要な物資の備蓄に取り組み、災害発生時の対策強化に努めます。

また、耐震性の確保、消防車両の大型化の対応を図るため、新消防庁舎の建設に着手します。

さらに、公共施設等の耐震化を図るため、市民会館・青年センター耐震化実施設計及び勤労者体育センター耐震化工事を行い、市民の皆さんが安全・安心に利用できるよう整備します。



市民会館・青年センター

6 農林業の振興と6次産業化の推進



健民センター施設群に導入した木質チップボイラーのチップサイロ

農林業の振興に向けて、農業振興条例等による助成措置により経営基盤強化等を図り、また、本市の地域特性である豊富な森林資源を、健民センター施設群に導入した木質チップボイラーのエネルギーとして地域内で循環させるため、国、道及び林業関係団体等と連携して林地残材の安定的な確保に取り組みます。

また、有害鳥獣による農産物の被害が拡大しているため、新たに銃猟免許取得に係る経費の助成を行います。

さらに、6次産業化を推進するため、芦別産の農産物のブランド化を目指し、中華麺用の新品種小麦の試験栽培に取り組みます。

7 企業振興による市内経済の活性化

昨年度から実施している企業振興促進条例に基づく助成措置の拡大、企業振興事業補助金の補助率引き上げ及び雇用奨励金制度の創設により、商業分野における魅力ある店舗づくりに対する支援、工業分野における新たな設備投資や新製品開発等の支援強化を図るとともに、割増特典付き商品券発行事業等を継続しながら、市内商工業の振興を図ります。

8 にぎわい創出プロジェクトの推進

本市に人を呼び込み、交流人口の拡大による地域活性化策の一つとして、道の駅を拠点とする「にぎわい」創出プロジェクトを推進します。

本年度は、道の駅魅力アッププランに基づき、訪れた人々が何度も行きたくなる快適で利用しやすい道の駅を目指し、出入り口の改善等を行うための実施設計を行います。



道の駅 イベントでにぎわう

9 市立芦別病院の経営健全化

新たに「市立芦別病院第2次中期経営計画」を策定し、安全・安心な医療の提供と安定した病院経営を目指し、経営健全化に努めます。

また、医師や看護師の医療スタッフの確保が急務となっていることから、自ら先頭に立って、粘り強く大学の医局を訪問し、医師派遣の要請を行います。

さらに、労働環境充実のため、市内民間医療機関との共同による院内保育所を開設します。

10 少子高齢化社会に対応した福祉施策の充実

門口除雪サービス及び在宅福祉サービスなどの高齢者福祉の充実を図り、新たに「第4期障がい福祉計画」を策定するなど、障がい者福祉の充実を図ります。

また、介護保険制度の持続可能性の確保に意を用いた施策を進めるため、「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を進めます。

子育て支援については、乳幼児等の医療助成制度を拡充し、未就学児に対して、医療機関に支払う一部負担金の無料化を実施します。



11 合宿の里事業のさらなる強化

毎年本市で行われている小学生バレーボール合宿



元アスリートなどのスポーツ関係者を地域おこし協力隊として公募し、市内児童生徒へのスポーツ教育、また、その人脈を通じた情報提供をいただきながら、多種多様な合宿誘致や2020年の東京オリンピックに向け、合宿の里事業のさらなる強化を図ります。

また、合宿誘致に必要な宿泊施設が不足していることから、市内にある利用可能な施設の活用について検討し、早急に対応を図ってまいります。

12 芸能鑑賞機会の創出

昨年度の芦別120周年・市制施行60周年記念事業、協賛事業におけるさまざまなスポーツ観戦事業・文化事業の実施による成果を踏まえ、本年度も市民会館等を活用して、市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、さまざまな芸能鑑賞機会を創出します。



木質チップボイラー火入れ式。木材を再利用した芦別ならではの新たなエネルギーシステムです

日差しもだんだんと強くなり、ようやく春の訪れを実感できる日々となりました。市民の皆様も新しい春を待ち遠しく毎日をお過ごしのことと思います。

3月22日、23日には、芦別120周年・市制施行60周年記念事業の最後となるバレーボールV・プレミアリーグ男子芦別大会が盛大に開催されました。市内外さらには道外

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある」という意味で私が考えた大切にしている言葉です。

指揮者先頭

No. 22

より多くの皆様にご来場いただきましたことに感謝を申し上げます。

3月議会も終了し、新年度予算が確定しました。平成26年度予算が本市の将来に向けての大きな礎となりますように皆様の声を聞きながら適正に執行してまいります。

さて、このたびは一部報道機関に対して市が送付した公文書について、その手法や内容に適切さを欠くこととなり、関係者はじめ市民の皆様にご迷惑やご懸念をおかけしましたことを心よりおわび申し上げます。

今後においては、公文書の取り扱いはもとより、適切な行政運営に努めてまいります。

(平成26年3月24日・記)

芦別市長 清澤 茂宏